

# 大阪府立泉南支援学校 令和7年度 第3回 学校運営協議会 記録

1 日時 令和8年2月17日(火) 10:00 ~ 12:00

2 場所 大阪府立泉南支援学校 会議室

- 3 次第 (1) 開会 校長あいさつ  
(2) 報告・協議  
(3) 事務連絡  
(4) 閉会 校長あいさつ

○報告(10:05~10:30)

<令和7年度学校教育自己診断の結果について>

・回収率：以前は用紙提出だったので保護者/85%、教員/100%だったが、昨年度よりGoogleフォームによる提出になり、便利な反面馴染みが薄く、どちらもまだ低い在今后できる限り以前の回収率をめざしていく。

・結果：保護者/AやB(高評価)が増えている。

教員/低い項目、気になる項目はわかりやすいように次年度質問の文章を見直す。項目によっては100%(行事によって児童生徒の成長がよくわかる等)もあり、教員の意識が高まると子どもたちにも良い影響につながっていくと期待している。

<令和7年度いじめ等に関するアンケート実施結果について>

・2件「あり」があったが、名前が記入されていないので、担任や学年とも話しあったが学校でのことか学校外でのことかが現時点では判断しかねるので、今後担任が懇談等する中で担任が対応をすすめる予定。

<令和7年度卒業予定者の進路指導状況について>

・卒業予定者の進路先一覧について説明。

・学卒(高卒)求人、一般求人、障がい者向けの求人についての説明。

→障がい者向けの一般求人に応募し、書類選考で落選した事例が1件あった。個人の能力や適性をきちんと見た上で選考してもらうため、学卒(求人)を出してもらうことが可能か採用担当者に確認する必要がある。

・企業は10年程度勤務すると「できるだろう」と思っているが、周囲の説明不足で辞めてしまう例もある。

→企業と本人の希望とのすり合わせやマッチングは大事。小学部の頃からのキャリア教育の積み重ねも大切。(あいさつ、身辺自立など)

○協議（10:30～11:45）

<令和7年度学校経営計画及び学校評価について>

- ・教員の働き方改革：昨年度より時間外在校時間が減少した。
- ・「初任・経験年数の少ない教職員を学校全体で育成する」「高等部/職業と中学部/現場実習（見学）のコラボ」に引き続き取り組んでいく。

<令和8年度学校経営計画及び学校評価について>

- ・1.（めざす学校像）に本校ならではの特色、“知的に障がいのある”児童生徒、を追記。
- ・2（中期的目標）に“子どもたちの生命・身体を守る取組みを図り”、を追記。
- ・3（本年度の取組内容及び自己評価）に“校内医療的ケア安全委員会を設置”を追記。

その他具体的な取組計画・内容として「近視の発症と進行を予防する」「食育を推進する」を追記。また、“学校安全衛生管理体制の充実”として「働き方改革」を進めていく。

“職業教育の充実と地域連携、情報の発信”として中学部と高等部の連携（高等部の現場実習の見学等）、農福連携（今年度は農家さんよりネギの仕分け依頼/来年は「あいぴあ泉南（泉南市総合福祉センター）」などで野菜の販売活動などできたら・・・）を進めていく。

→「泉南市のくらしの便利帳」も活用していけばいいのではないかと。企業の新規開拓時、リストを見せると企業同士が知り合いで協力しやすくなるかもしれない。オープンファクトリー、商工会のイベントもチェックしていくとよいのではないかと。

- ・今後、災害時の「避難所での長期生活」への対策も必要ではないかと。

→今、近隣各市では対策が取れていないので、PTA、学校と連携して対応を考えていく取組を予定している。

衣食住、薬、パニックになる予想がされる。（何が必要・不必要なのか、被災地の支援学校と連携ができるとうい。）知的障がいを知ってもらうための冊子を作成している他市・他県もある。災害時だけでなく、普段から児童生徒の様子を知ってもらいたい。（子どもたちの作った野菜のおいしさも！）

○事務連絡

- ・今後の予定

来年度 第1回学校運営協議会は令和8年6月中（午前を予定）